

令和7年度使用中学校教科用図書
調査研究結果報告書

国語・書写



京築教育事務所管内教科用図書調査研究協議会

中 学 校 教 科 書 一 覧

教科書種目	国 語
-------	-----

発行者名	番号	略称	教科書名(シリーズ)
東京書籍(株)	2	東 書	新編 新しい国語
(株)三省堂	15	三省堂	現代の国語
教育出版(株)	17	教 出	伝え合う言葉 中学国語
光村図書出版(株)	38	光 村	国語

教科書種目	書 写
-------	-----

発行者名	番号	略称	教科書名(シリーズ)
東京書籍(株)	2	東 書	新編 新しい書写
(株)三省堂	15	三省堂	現代の書写
教育出版(株)	17	教 出	中学書写
光村図書出版(株)	38	光 村	中学書写

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
国語	2	東書	新編 新しい国語

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	・ 中学校学習指導要領（国語）に示された目標に則り、指導事項と言語活動例がもれなく扱われている。生徒が言葉への自覚を高め、言葉による見方・考え方を働かせながら言語活動に取り組めるように工夫されている。
	2 内容に関する配慮事項	・ 各教材冒頭の「見通す」で学習の見通しを持ち、教材末の「振り返る」で学習を振り返るとともに、次の学習への展望を持つという仕組みによって、生徒が主体的に学習できるように工夫されている。また、教科書全体を通して、協働的な学びの場面が多く設定されている。
	3 分量	・ 本編の内容は、生徒や先生の過度な負担とならないように精選されており、資料編と QR コンテンツを活用することで、学習を補充したり、発展させたりすることができる。
	4 使用上の便宜	・ 多数の QR コンテンツが用意されており、個別最適な学びを支援できるように配慮されている。 ・ 資料編と明記し、各学年とも、本編とは別の小説・説明文や古典作品、古典作品の解説などが掲載されている。
	5 印刷・製本等	・ 文字組みは読みやすく、イラストや写真は鮮明に美しく印刷されている。 ・ 軽量化が図られている。軽く、かつ、裏写りを抑えた、文字が見やすい用紙であり、生徒の身体的負担が軽減される。
教科ごとの選定の観点		1 当該学年の学習事項が領域ごとに掲載され、学習指導要領との対応が明示されている。 2 「未来を考えるための 9 つのテーマ」をもとに、国語の学習を通して自分や社会の課題と向き合えるように工夫されている。 3 「情報の扱い方」を重視し、情報リテラシーを育成することができる。 4 四季折々の詩歌が印象的な写真とともに掲載されているなど、豊かな日本語に触れる機会が多く設けられている。 5 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の学習指導がバランスよく配列されている。また、2 学期、3 学期どちらも対応可能。 6 全ての指導事項が扱われ、言語活動例が網羅されている。また、生徒目線で書かれた「問いかけ」が明示されている。 7 全ての指導事項が扱われ、言語活動例が網羅されている。 8 全ての指導事項が扱われ、言語活動例が網羅されている。また、問いが、「つかむ」「読み深める」「考えを持つ」の 3 段階で示されている。 9 各学年とも、2 か所に「読書教材」が設けられている。読み比べや読み広げ、あるいは読書の意義を感じることができるよう工夫されている。 10 『言葉の力』一覧を通して、生徒が 3 年間の学習の見通しを持ったり、既習事項を振り返ったりすることができるように工夫されている。 11 説明文は 3 系統、文学は 5 系統からバランスよく扱っている。 12 我が国で長く読み継がれてきた優れた古典作品が、文種や内容、成立年代を考慮してバランスよく取り上げられている。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
国語	1 5	三省堂	現代の国語

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	学習指導要領に示された教材選定の観点をふまえ、各学年の発達段階に応じた学習意欲を喚起させると共に、基礎的・基本的な知識および技能の習得と、思考力・判断力・表現力等の育成に資するよう工夫されている。
	2 内容に関する配慮事項	- 各教材に「学習目標」、「学び方」が示され、主体的・対話的で深い学びを促し、見通しをもって取り組めるよう工夫されている。末尾では次への学習や学びを広げたり深めたりすることができるように配慮されている。 - 言語活動が重視されるとともに、自主的・自発的な学習が期待できる。
	3 分量	3学期制・2学期制の両方に対応するよう、配当時数を考慮して、単元が構成されており、各領域及び分野の内容に偏りがなく調和が取れている。
	4 使用上の便宜	- 本編と資料編で構成されており、各学校での弾力的な学習ができるよう工夫されている。 「学び方」を学ぶことを重視し、他教科や社会生活における言語活動において活用できるよう工夫されている。
	5 印刷・製本等	- 特別支援教育やカラーユニバーサルデザインに配慮し、全ての学習者に対して分かりやすくなっている。 - 製本は耐久性を考慮。独自の書体を用い誤解が生じない配慮をしている。
教科ごとの選定の観点		- 学習の見通しと、学び方が明確に位置付けられており、主体的・対話的で深い学びに繋がるように工夫されている。 「読み方を学ぼう」には、思考力・表現力を伸ばすための方法が示され、他教材・他教科での学習に活用することができるようになっている。 - 各教材で「思考の方法」が位置付けられており、情報と情報の関係を捉えたり、考えを整理したりする力を養うことができるようになっている。 「語彙を豊かに」を設置し、語彙を磨くことができるようになっている。 - 各領域における「つきたい力」に「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」が位置付けられ、年間を通じてバランスよく指導できるようになっている。 - 教材においては「学習の流れ」を設置し、「対話・交流・共有」によって学習が進められるようになっている。 - 言語活動に応じ「自分の考え」を形成することへの展開を仕組んでいる。 「文種」に応じて、必要な言語活動の学習が配置され、学習の見通しが持てるように文頭の「目標」に示されている。 - 作品の最後に「私の本棚」を配置し、様々な分野の読書を紹介し、生徒の読書意欲を高める工夫がされている。 「言葉、情報、言語文化」における学習を基に〔思考力、判断力、表現力等〕に示す指導を必要に応じて取り扱うことができる内容になっている。 「つきたい力」に応じて、バランスよく教材を配置し、文種の特徴を生かした指導ができる内容になっている。 - 各学年で古典の学習段階を踏まえ、身近な内容から発達段階に応じて親しめる内容になっている。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
国語	1 7	教出	伝え合う言葉 中学国語

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	- 現代の諸課題に言葉の教育という側面から応え、言葉による見方・考え方をはたらかせ、正確に理解し適切に表現する資質・能力を高めるために、各領域において教材内容が工夫されている。 - 指導内容を螺旋的・反復的に繰り返して学力向上を図った指導ができるように、学年間と学年を通しての系統的な学習が進められるよう工夫されている。
	2 内容に関する配慮事項	- 各教材には「学びナビ」と名付けられたコラムが、各単元の適切な場所に設置され、自主的な学習を導くことができるようになっている。また、各教材には「目標」その教材で身に付けたい力や学習活動の重点が明確に示され、「みちしるべ」で生徒の主体的な学びを引きだそうと仕組みられている。 「SDGs」を踏まえた現代的な課題を積極的に取り上げ、論理的な思考力・多様な考え方・対話力を高め、協働的な学びができるよう工夫されている。
	3 分量	各単元において、領域や指導事項に偏りがない。また、学習時期も考慮され、発達段階に応じた教材がバランスよく配置されている。
	4 使用上の便宜	- 単元のまとまりがわかりやすく配列され、主体的に学びを進められるように工夫されている。 - 説明文やメディアなどの学習では、写真やグラフが発達段階に応じてわかりやすく配置されている。
	5 印刷・製本等	- 各学年の基本色を設定し、統一的で落ち着いたやわらかい配色とデザインになっており、色覚の特性を考慮した表示となっている。 - 発達段階に応じて、学年でフォント数や行数を変化させている。
教科ごとの選定の観点		「学びナビ」で学習の見通しをもち、「みちしるべ」で主体的に学び、「振り返り」で学習の定着を図っている。 - 社会生活に必要とされる思考に支えられた表現を培う教材を選定している。 「SDGs」教材、情報・メディア教材を設け、協働的な学びを仕組み、発達段階に応じて社会との関わりを考えさせるように工夫されている。 - 各単元の最後に、季節に応じた和歌や俳句に親しむ内容を取り入れている。 - 単元の中で各領域の学習内容が年間を通してバランスよく配置されている。 - 年間を通してバランスよく配置され、学習手順・例がわかりやすく提示されている。 「B 書くこと」については、表現や、構成などのポイントが示されている。 「C 読むこと」について、論理的思考を育てるための工夫がされている。また、自らの表現力を高める構成にされている。 - 単元ごとに本の紹介が配置されており、読書に対する興味を高めることができるようになっている。 - 中学校で学習するすべての漢字を教材の中で学ぶことができるようになっている。また巻末に文法教材を準備されている。 - 発達段階に応じて配置され、文種も調和のとれた教材が扱われている。 - 古典作品が豊富で、発達段階に応じて口語訳の示し方にも工夫がみられる。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
国語	3 8	光村	国語

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	・ 3年間を通じて未来を切り開く言葉の力と創造性、幅広い知識・教養と豊かな心、社会参画に資するコミュニケーション能力等を育成するため、言葉による見方・考え方を育む系統や教科横断的な関連が図られている。また、主体的・対話的で深い学びを実現するカリキュラム・マネジメントを意識した内容である。
	2 内容に関する配慮事項	・ 言葉に関する興味や関心を深めるためのツール(「言の葉ポケット」や「語彙ブック」)、及び「学びのカギ」や「学びの地図」を通じて主体的で対話的な学びが促進され、主体的な学びを可能にする構成である。
	3 分量	・ 「本編」は発達段階と学習の持続性を考慮してバランスよく配列され、「学びを深める」には文法や評価問題「国語の力試し」、語彙ブックが含まれるなど、教材数と領域のバランスが工夫されている。
	4 使用上の便宜	・ カリキュラム・マネジメントの観点から「話題・題材の選定」に各教科の内容が相互に関連するよう設計され、教科横断的な学びが促進されるように工夫されている。 ・ QRコードで多様な資料や発展問題を提供し、家庭学習に対応している。
	5 印刷・製本等	・ 鮮明な印刷、色覚特性に配慮した配色。また、多様な図表を活用して思考を可視化している。独自の書体を使用し、読みやすさを追求している。
教科ごとの選定の観点		1 語彙や語感を磨く教材設定、学びのポイントを明示した構成、情報整理やメディアリテラシー学習等を通じて、資質・能力を育成できる。 2 言葉や語彙に関する興味を深める教材、情報に関する学習、多様な読書活動を通じ、生徒の主体的・対話的で深い学びが促進される。 3 「学びへの扉」において、互いに考えを伝え合う学習場面が設定され、他者の考えと自己の考えを比較し、再度振り返る場面が設定されている。 4 語彙を学ぶ「言の葉ポケット」や「語彙ブック」、我が国の言語文化を尊重する態度を養う郷土作家や作品が紹介されている。 5 言葉への興味を深め、主体的・対話的な学びを促し、学び方を領域ごとにバランスよく習得し、習得した学びを活用できる構成である。 6 実生活に役立つ言語能力を育成するため「話すこと・聞くこと」の多様な言語活動を配列し、ICT機器の活用や話型が紹介されている。 7 発達段階や興味・関心に応じた多様なテーマ・文種を位置付け、統計資料を引用するレポートや体験の価値の書き方などを示している。 8 「見通しをもつ」「捉える」「読み深める」「考えをもつ」「振り返る」という過程で主体的な学習態度が育成される。 9 名作や現代作家の文学作品、現代社会に即した題材を扱った説明的文章など、多様なテーマに関する読書単元を設けている。 10 各領域の言語活動を通じて、知識と技能を活用し、思考力、判断力、表現力を高める系統性を重視した螺旋的な構成となっている。 11 文学的文章、説明的文章、古典などバランスよく配置されている。 12 ビジュアル資料や名作の一節など、古典の世界観を視覚的に理解できる。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
書写	2	東書	新編 新しい書写 一・二・三年

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	学習指導要領の書写の指導事項を効果的に学習できるよう、単元数・学習事項を精選し、生徒の発達段階（学年）に応じて生徒が主体的にねらいを達成できるよう、系統的に単元が配列されている。
	2 内容に関する配慮事項	- 言葉・文字による見方・考え方を働かせて、書写に関する「知識・技能」の習得、及び正しく整えて書くための「思考力、判断力、表現力等」の育成が図られるよう系統性や発展性を念頭に置いて編集されている。 - 文字を整えて書くための汎用的なポイントが「書写のかぎ」として位置づけられ、各単元に1事項ずつ焦点化して配置されている。
	3 分量	原則として1単元1事項で構成され、限られた時間内で効果的・効率的に力がつけられるよう配慮されている。
	4 使用上の便宜	- QR コンテンツが多数用意され、授業のみならず家庭学習でも活用することができる。 - 巻末資料「書写活用ブック」では、さまざまな書式の具体例を挙げて特徴や書き方の解説を加え、日常生活の中で生徒が目的に応じて活用できるよう工夫されている。
	5 印刷・製本等	印刷は鮮明で正確である。硬筆文字や毛筆文字は、濃度や色味を調整して、より本物に近く、見やすいものにしている。
教科ごとの選定の観点		「生活に広げよう」では、書写の学習で身につけた知識・技能を生活の場でどのように活用できるかを考えることができる。さらに、生徒に身近な題材の例が豊富に示されている。 - 文字を整えて書くための汎用的なポイントが「書写のかぎ」として位置づけられ、各単元に1事項ずつ焦点化して配置されている。 - 毛筆教材と硬筆教材とがバランスよく配分されている。さらに、適宜硬筆のまとめのページが設置されている。 - 基本単元は、①硬筆で課題を発見、②毛筆で書いて確認、③硬筆でほかの文字に活用、といった内容で構成され、硬筆と毛筆の密接な関連が図られている。その中で、硬筆による書写の能力の基礎を養うことができる。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
書写	1 5	三省堂	現代の書写 一・二・三

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	・ 教科書全体を通して、学習指導要領に示された教材選定の観点をふまえ、学習の見通しをもたせ、学習意欲を喚起させるとともに、確かな書写の力の育成に資する教材を設定している。
	2 内容に関する配慮事項	・ 学習の流れとして、「目標」「書き方のポイント」「体験」「振り返り」「繰り返し」「まとめ」となっており、「自分の文字をよりよくする」意識を高めながら、社会生活に生きる「書写の力」に繋がるように配慮されている。
	3 分量	・ 3学年分の教材を一冊にまとめてあり、3年間の学びを見通した学習ができるとともに、生徒の発達段階に応じ、各学年の配当時数の中で、無理なく学習計画が立てられる分量になっている。
	4 使用上の便宜	・ 「本編」・「資料編」の2部構成となっている。 ・ 「本編」では必修の学習内容を、「資料編」では、日常生活・社会生活の中で必要となる書式等を扱い、伝統文化に親しむなど、幅広い知識が得られるようになっている。
	5 印刷・製本等	・ 用紙は、硬筆で「書く」・「消す」といった使用に対応できる紙質のものを採用している。また、学習の利便性に配慮し、書き込み欄を豊富に配置している。
教科ごとの選定の観点		1 「書いて身につけよう」では、日常生活・社会生活で使う言葉や書き方を硬筆で練習し、実践的な力の定着が図れるように工夫されている。 2 各学年末の「やってみよう」や「書いて身につけよう」に国語との関連教材を配置することで、書写の学習内容を活用できるようにしている。また、他教科(数学・理科・社会・英語等)との関連教材を設け、教科横断的な学習ができるように工夫されている。 3 毛筆で書いて確かめた内容を「書いて身につけよう」などの豊富な書き込み欄を通して、ふだんの硬筆の文字に生かすことができるように工夫されている。また、毛筆学習では、朱墨を用いて、穂先の位置や筆脈などが理解できるよう工夫されている。 4 毛筆が硬筆による書写の能力の基礎を養うことをふまえ、毛筆学習のあとには硬筆で確かめる「書いて身につけよう」が設けられている。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
書写	1 7	教出	中学書写

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	・ 確かな書く力を身につけ、日常に生かす活用力を養うために、1～3年の内容を一冊にまとめて、3年間の見通しを持たせている。
	2 内容に関する配慮事項	・ 文字を正しく整えて書くための知識・技能が系統的に整理・配置されている。 ・ 毛筆で学んだことを硬筆で書くことで定着を図るという、学んだことを日常生活で生かせるよう工夫されている。
	3 分量	・ 各学年の配当時数に対して、適切な分量であり、毛筆・硬筆の学習がバランスよくできるように構成されている。
	4 使用上の便宜	・ 基本単元は目標を達成するための教材の提供、「コラム」で発展的活用を図っている。 ・ 半紙形を維持した紙面によって、書き始めの位置や字形の整え方、文字の大きさと余白のとり方などが、生徒が自ずと実感できるように工夫されている。
	5 印刷・製本等	・ 大判サイズの紙面で資料が充実しており、教材が豊富である。 ・ 用紙は鮮明で、表紙は耐久性が高い。 ・ カラーページを多く設け、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。
教科ごとの選定の観点		1 各単元の最後に活用単元が配置されており、学んだことを実生活で生かせるように工夫されている。 2 巻頭で、「目的に合わせて書く」という意識づけをさせ、各学年で目標を明確にし、工夫された教材が用意されている。また、他教科との連携も図られている。 3 各学年の各単元において、毛筆と硬筆がバランスよく配置され、指導できるようになっている。 4 「書式の教室」で毛筆を生かした手紙の書き方や原稿用紙の使い方、願書の書き方など、学習に役立つ内容が設けられている。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
書写	3 8	光村	中学書写 一・二・三年

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	・ 学習指導要領に示された指導事項を網羅し、各単元・教材での学習内容を焦点化し、段階的に配列されている。
	2 内容に関する配慮事項	・ 知識・技能を習得し、課題解決を行う過程で、資質・能力を養うことができ、書写で培った「正しく整えて文字を書く力」を他教科や日常の言語生活で生かせるように工夫されている。 ・ 著名人の手書き文字などを示し、生徒の学習意欲、文字や文字文化への理解・関心を高めるように工夫されている。
	3 分量	・ 知識・技能の習得と活用を繰り返しながら、確実に基礎・基本を定着できる授業時数に照らした適切な分量で、1年から3年までの内容がまとめられている。
	4 使用上の便宜	・ デジタルと手書き、それぞれのよさや特徴について考える教材が新たに設けられ、手書きの価値や現代における文字文化について、理解を深めることができる。 ・ スポーツ科学の専門家の監修による「書写体操」が収録されている。
	5 印刷・製本等	・ 間伐材を利用したオリジナル用紙が使用され、針金を3か所に施した中綴じ製本で、長期使用を可能にしている。 ・ ユニバーサルデザイン書体や色覚の多様性に配慮した配色、明瞭簡潔な紙面構成により、全ての生徒が学習に集中できるように工夫されている。
教科ごとの選定の観点		1 言語活動を通して、日常生活に生きて働く書写の知識・技能を習得できるように、国語との関連教材や古典文学や短歌・俳句を書いて味わう教材が各学年に設けられている。 2 「行書を活用しよう」や「防災フェスタを開こう」など、国語や他教科、日常生活に役立てる方法をイメージできるように工夫されている。 3 毛筆教材文字と同じ学習要素をもつ硬筆課題が各学年に豊富に設定され、毛筆、硬筆ともに充実した内容になっている。 4 毛筆教材では、朱墨や写真、擬音語・擬態語を用いて、筆脈や穂先の動きを把握しやすいように工夫されている。また、硬筆教材では「書写ブック」など毛筆教材文字と同じ学習要素をもつ硬筆課題を設定し、硬毛の密接な関連を図り、毛筆での学習が硬筆に生きる構成となっている。